

2020年度業務実績報告書

提出日 2021年 1月 4日

1. 職名・氏名 助教・今井拓哉

2. 学位 学位 博士、専門分野 理学、授与機関 金沢大学、授与年 2019年

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 恐竜学（2020年度前期・2単位）、生命科学（2020年度後期・2単位）
②内容・ねらい 恐竜学：恐竜をモデルケースとし、脊椎動物のマクロ進化や生態を理解する 生命科学：鳥類の歴史を例とし、脊椎動物の進化や生態に関する理解を深める
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 恐竜学：恐竜と現生動物の比較を行い、絶滅した恐竜のイメージ助ける 生命科学：分類群に重きを置くことはせず、これまで理解されてきた進化や生態に関する理論がどのように鳥類で見られるかの解説を中心とした
(2)その他の教育活動
放送大学福井学習センター 非常勤講師 担当：恐竜生物学

4. 研究業績

(1)研究業績の公表	
①著書	
東 洋一・今井拓哉・河部壮一郎・柴田正輝・関谷 透・服部創紀. 2020. グレゴリー・ポール恐竜事典 原著第2版. 共立出版. 東京. 420pp. (監訳・訳) 東 洋一・野田芳和・寺田和雄・宮田和周・関谷 透・中田健太郎・河部壮一郎・湯川弘一・今井拓哉・服部創紀・中山健太郎・築地祐太・静谷あてな. 2020. 福井の恐竜新時代. 福井県立恐竜博物館. 福井. 95pp. (執筆: 恐竜の卵・フクイプテリクス・恐竜の3D復元)	
	【2本】
②学術論文 (査読あり)	
*1. Imai, T., Azuma, Y., & Yukawa, H. 2020. New Early Cretaceous dinosaurian eggshell <i>Multifissosoolithus shimonosekiensis</i> (Dinosauria, Dongyangoolithidae) from the Lower Cretaceous of Shimonoseki, Yamaguchi, Southwestern Japan. <i>Historical Biology</i>. doi: 10.1080/08912963.2020.1737682 (2020年3月) 2. Yukawa, H., Sun, G., Suzuki, S., & Imai, T. in press. Revision of the Nariwa flora and its implications in terrestrial climate changes during the Late Triassic in East Asia. <i>Memoir of the Fukui Prefectural Dinosaur Museum</i> 19. (2020年12月)	
	【2本】
③その他論文 (査読なし)	
	【 本】
④学会発表等	
	【 件】
⑤その他の公表実績	
	【 本】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績	
【学内】	
今井拓哉・東洋一・芝原暁彦・服部創紀. 2020. AIによる画像認識と高精度ロボットアームを活用した、自動恐竜化石クリーニング装置の開発. 福井県地域連携研究推進支援. 1700千円. (研究担当者)	
【学外】	
今井拓哉. 化石カメ類卵における乾燥化への適応: 手取層群桑島層・北谷層 (前期白亜紀後期) におけるケーススタディ. 藤原ナチュラルヒストリー振興財団 第28回学術研究助成. 689千円. (研究担当者)	
(3)特許等取得	
(4)学会活動等	
アジア恐竜協会事務局 スタッフ 福井県立恐竜博物館紀要 編集幹事	

5. 地域・社会貢献活動

福井県立恐竜博物館研究員（兼務）

内容：展示設営、監修、一般来館者向けゼミや自然教室

活動期間：2019年4月～現在に至る

地球科学可視化技術研究所 恐竜技術研究ラボ（研究員）

内容：東洋一福井県立大学名誉教授、並びに芝原暁彦地球科学可視化技術研究所 CEO（兼恐竜学研究所客員教授）とともに、バーチャル技術を活用した VR 恐竜博物館の公開、並びに VR 恐竜シンポジウムの定期開催を行う。また、グッズの制作やイベントへの参加を通し、福井の恐竜研究の普及を行う。

活動期間：2020年4月～現在に至る

古生物学若手のための会

内容：若手古生物研究者の活性化・交流を図るための企画立案・実施（オンライン配信による定期セミナーなど）。

活動期間 2018年6月～現在に至る

山口県下関市における恐竜化石発掘調査

内容：下関市教育委員会の協力の元、下関市産恐竜卵化石（2020年3月論文発表）の産出層準を継続調査し、新たな恐竜化石の発見と、地学教育普及を目指す。

2019年11月～現在に至る

6. 大学運営への参画

(1)補職

(2)委員会・チーム活動

(3)学内行事への参加

(4)その他、自発的活動など

恐竜サークル DiNo 顧問